

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・・購入時の取得価格によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していません。)

(2) 固定資産の減価償却について

什器備品・・・・定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・・職員の退職給付にそなえるため、当期末における退職給付債務(期末自己都合要支給額)に基づき、当期発生していると認められる金額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	85,820,140	0	0	85,820,140
普通預金	179,860	0	0	179,860
小 計	86,000,000	0	0	86,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,000,000	2,258,718	3,472,725	4,785,993
安成弘氏記念事業積立資産	1,000,000	0	0	1,000,000
事務所移転費用積立資産	0	3,000,000	0	3,000,000
小 計	7,000,000	5,258,718	3,472,725	8,785,993
合 計	93,000,000	5,258,718	3,472,725	94,785,993

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	85,820,140	(0)	(85,820,140)	(0)
普通預金	179,860	(0)	(179,860)	(0)
小 計	86,000,000	(0)	(86,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	4,785,993	(0)	(0)	(4,785,993)
安成弘氏記念事業積立資産	1,000,000	(1,000,000)	(0)	(0)
事務所移転費用積立資産	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
小 計	8,785,993	(1,000,000)	(3,000,000)	(4,785,993)
合 計	94,785,993	1,000,000	89,000,000	4,785,993

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	6,420,440	3,504,720	2,915,720

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりとなっております。

(単位：円)

科 目	取得価額	時価	評価損益
国 債	85,820,140	84,950,520	-869,620
合 計	85,820,140	84,950,520	-869,620